

平成18年度第3回千葉県図書館協議会要録

- 1 日 時 平成19年1月16日(火)
午後1時30分から午後2時00分まで
- 2 場 所 千葉県立中央図書館 講堂
- 3 出席者 (委 員) 石 井 朝 子 田 中 伸 一
荒 井 誠 久保田 洋 之
橋 本 文 子 島 利栄子
土 屋 俊 水 野 幸 子
山 中 齊
(生涯学習課) 生涯学習課長 他2名
中央図書館長 堀 井 和 夫
西部図書館長 長 柄 弘 道
東部図書館長 方波見 光 彦 他
(事 務 局) 6名
(傍 聴 者) 2名
(取 材) 朝日新聞社 1名

会議開会宣言の後、本日の委員の出席が9名であり、図書館協議会会議運営規則第6条の規定による半数に達していることから、会議成立の確認がなされた。

次に、議長から傍聴の許可がなされ、傍聴者2名が入室した。

その後、議長及び生涯学習課長からあいさつをいただいた。

<会議録>

事務局 それでは、答申に移ります。

平成17年11月に開催された図書館協議会において諮問が出されて以来2年に渡り協議をしていただき、本日、答申を戴くこととなりました。

正・副議長様と3館長は、中央へお出でいただきたくお願いします。

議 長 (答申文を読み上げた後、中央図書館長へ手渡し)

中央館長 県立図書館3館を代表いたしましてお礼を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、公務ご多忙の中、「これからの時代に求められる千葉県立図書館運営の在り方」につきましてご審議いただき、その集大成として本日この答申を戴きましたことを感謝申し上げます。

今後は、戴きました答申を最大限に尊重した実施方策の策定作業を進めていきたいと考えております。

昨年来進めてまいりました、私どもの「電算システムの統合」でございりますが、おかげさまで、この2月1日に、新たにスタートする運びとなりました。答申の中でもご指摘いただいております内容のいくつかは、新しい県民サービスという形で実現できればと願っております。

県立図書館としての課題は山積しておりますが、戴きました答申をこれからの運営の指針といたしまして、生涯学習課のご指導を戴きながら鋭意努力する所存でございます。

協議会の皆様におかれましては、引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。お礼のご挨拶とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

事務局 ありがとうございました。

以上をもちまして、答申を終了とさせていただきます。

本日は、その他の議題がございませんので、これをもちまして第3回千葉県図書館協議会を終了とさせていただきます。

ここで図書館協議会は終了し、その後の懇談会のなかで「千葉県立統合電算システム」についての説明を行った。